



地域デビューでまちづくり.....

FRONTIER

市民大学校は「市民活動への架け橋」 明るく希望に満ちたシニアライフを！

「白井市民大学校」が新学部を設置します

これからの明るく希望に満ちたシニアライフの実現には、新たな仲間や居場所をつくり、地域に根をおろした生活を楽しみ、生きがいを見つけていくことが大切な要素といえます。

また、地域に一步を踏み出し、これまでの豊かな社会経験、培ってきた知識・能力、地域への貢献意欲をもとに、ボランティア活動や市民活動等を実践していくことが、もう一つの要素といえるのではないのでしょうか。

「白井市民大学校」（以下、市民大学校）は開校以来、今年度で6年目を迎えますが、後者に重点をおいたシニアライフモデルを応援する新学部を8月下旬に設置いたします。まずは地域になじむことから段階的に講座を進めていきますので、安心して楽しみながら受講することができます。

7月中旬に「広報しろい」で情報掲載を行い、各センター等に入学案内を設置し募集を開始しますので、新学部への入学を検討していただけたらと思います。

卒業生が地域で活躍しています

市民大学校は、時代や市民ニーズにあわせ、様々な学部を設置し、多彩なテーマで講座を開催し、これまで健康生活学部、シニア学部、まちづくり学部の3学部の開講実績があり、延べ300人を超える人が卒業しています。卒業生の中には、市政に関する各種公募委員、各種ボランティア活動や市民活動、さらなる生涯学習活動へのステップアップに励んでいる人がいるほか、組織的な活動として、同期生の交流サークルや地域活動グループを結成し、活発に活動を行っています。

市民大学校は市民活動への架け橋となります



白井市民の「健康」に関するアンケート調査（平成20年度実施）によると、シニア世代では、地域の人のつながりをもつことが大切だと思っている人が約7割を超えている半面、実際の行動はなかなか進んでいない実態があります。また、第12回住民意識調査（平成21年度実施）の結果では、高齢期にしたい活動が「特にない」という人が約1割いるという現状です。

市民大学校は、学習活動を通じた「出会いの場」、「居場所の発見の場」、「やりたいことを見つける場」をつくりだしています。こうした3つの場が互いに心地よい刺激となり、市民

活動のやりがいと楽しさの発見につながっており、市民大学校は、学習成果を地域に活かすという視点から「市民活動への架け橋」として重要な役割を担っています。

（白井市教育委員会生涯学習課）

活動体験談

「核兵器のない世界を」の署名活動に取り組んで 白井平和委員会事務局 池川 和子

昨年11月に「核兵器のない世界を」の国際署名推進白井市連絡会を結成して、進めてきた署名は、5月中旬に累計で4,751筆に達しました。

5年ごとに開かれるNPT(核不拡散)再検討会議は、2005年はまったく成果が見られなかったことから、2010年の会議では、核保有国をはじめすべての国の政府が核兵器禁止・廃絶条約の交渉を開始し、締結することの合意を求めようと、全国でこの国際署名が熱心に取り組まれてきました。

この署名を白井では住民の1割、6,000筆集めようと、市長や議長を始め、市議員の方々、商工会、婦人会、JA西印旛、白井工業団地協議会、高齢者クラブ連合会、白井市福祉作業所、白井高校などに協力をお願いに行きました。広く協力を訴えようと、七福神めぐりをしながら市内の7つのお寺、教会にもお願いしました。市内の幼稚園など思いつく多数のところに足を運び、多くの方々の協力をいただきました。しろい九条の会を始め、市民活動推進センターのサークルにもお願いしました。また、1月末と3月に各1万8千枚のチラシを配布して、9箇所公民館などに受取箱を設置し市民に呼びかけました。

人が集まる場所はどこでも署名を訴えようと、2009年成人式・二十歳祭、平和行進白井コース、原爆と人間パネル展、市民活動まつり、2010年成人式、白井駅マルエツ付近街頭署名、西白井複合センターまつり、白井駅前センターフェスティバル、生協主催「きやっせ」、白井高校正門前、白井駅前こいのぼり祭、商工会主催菖蒲まつり(来迎寺)などに参加しました。



人が集まる場所はどこでも署名を訴えようと、2009年成人式・二十歳祭、平和行進白井コース、原爆と人間パネル展、市民活動まつり、2010年成人式、白井駅マルエツ付近街頭署名、西白井複合センターまつり、白井駅前センターフェスティバル、生協主催「きやっせ」、白井高校正門前、白井駅前こいのぼり祭、商工会主催菖蒲まつり(来迎寺)などに参加しました。

全国で集まった署名は690万筆。402万筆の第一次分は3月にニューヨークへ船便で発送され、残りの288万筆の署名は、4月29日出発のNPT再検討会議要請代表団に託されました。世界的に大きなうねりとなっている核兵器廃絶の動きに、私たちが集めた署名は、これを前に進める大きな力を発揮するものと確信しています。

掲 示 板

おもちゃ病院(白井)

「ものづくり教室」パート : 電気工作

- ・ 教室内容: 電気の基礎知識、おもちゃのしくみ、メリーゴーランドの工作
 - ・ 場 所: 桜台センター 2F 研修室
 - ・ 日 時: 7月29日(金)午前9:30 ~ 午後3:00 (昼食は持参)
 - ・ 参加費: 500円(材料費代: 申込時に持参)
 - ・ 申込み: 10名(小学4~6年生対象)
- 桜台センター受付窓口(492-1011)
- (7月1日の広報に掲載後、申込者多数の場合は抽選)
- ・ 持参するもの: 筆記用具、マット、はさみ、定規、カッターナイフ、カラーペン、ボンド、セロテープ



* 工作内容についての問合せ先:
星野 隆史 498-3395

2010 夏休み工作教室

- 楽しく遊べる工作を準備していますので、小学生の皆さんのご参加をお待ちしています
- 場所 西白井複合センター2F 工芸室 (TEL: 492-1011)
- ・ 日 時: 8月6日(金)午前9:30 ~ 12:00
 - ・ 工作内容: からくり工作
 - ・ 参加費: 300円(材料費代、申込時に持参)
- 場所: 桜台センター2F 研修室 (TEL: 491-7111)
- ・ 日 時: 8月26日(木)午前9:30 ~ 12:00
 - ・ 工作内容: ダンシング人形劇
 - ・ 参加費: 200円(材料費代: 申込時に持参)
- 申し込み: 各10名(小学生対象、但し低学年は保護者同伴) 各センター受付窓口へ申し込んでください
- (7月15日の広報に掲載後、申込者多数の場合は抽選)
- ・ 持参するもの: はさみ、定規、カッターナイフ、カラーペン、ボンド、セロテープ

健康文化都市夢ふれ愛サークル 蕎麦の栽培を一緒に!

今年も蕎麦の栽培を行います。蕎麦畑の手入れ、畝作り、種蒔き、雑草の除去、等の農作業を7月の終わりから1か月間に亘り実施します。時間は9時から12時までの間です。希望者の参加を歓迎します。場所は白井市木地区、16号線の南側八百パークの隣で駐車OKです。取り入れ作業は11月になります。日時の詳細は電話で問い合わせ下さい。(雨天中止)

問合せ先: 国安 保 186-491-2445





今や白井市のメインストリート、「白井市停車場線」と国道464号線の交差点の近くの中央分離帯の花壇は、これからが一番色鮮やかな季節です。まだの方は是非、現地を一見して下さい。写真では、その鮮やかさも、その気配すらも全く感じられません。

この見事さを更に向上させて行くには、会員数が不足です。お花好きの方「アダプト530クラブ」へ是非入会の上、力を貸して下さい。
問合せ先：田中 497-1229

ガールスカウト千葉県第63団 講演会のお知らせ

2010年は、ガールスカウト運動がイギリスで始まって100年目、日本に広まって90年、そして千葉県では40周年という年です。私たちの63団も白井で活動を始めて、おかげさまで20周年。世界のガールスカウトたちは、「一緒になら、この世界を変えられる(Together we can change our world)」を合言葉に、世界のいろいろな問題を考え、自分たちにできることを見つけて行動していこうとしています。今年のテーマは「一緒になら、極度の貧困と飢餓をなくせる」です。20周年を記念して、このテーマに基づいた講演会を開催することにしました。ネパールで長年支援活動を続けていらっしゃる「OKバジ」こと垣見一雅さんをお招きして、ネパールの人たちの生活やOKバジの支援の様子などをお聞きます。そして、日本にいる私たちでも、子どもでも、世界の貧困と飢餓をなくすためにできることはないかを考えてみようと思います。この機会に、ぜひ、私たちガールスカウトと考えてみませんか？「一緒になら(Together)」です。

講演会日程

日時：7月17日(土)
10:30~12:00
場所：白井市文化会館
中ホール
問合せ先：高橋
497-0522



NPO法人しろい環境塾 「平塚の里第2地区」 施設利用案内

- ・利用日と時間：7月17日(土)~9月10日(金)10:00~15:00
- ・利用可能機材：流しそうめん用竹樋 鉄釜 鍋 ボール ざる 鉄板など
- ・利用可能施設：木製テーブル 調理用流し台 大型水桶(スイカなどの冷やし用) 水道 トイレなど
- ・利用料金：団体構成員のみで利用する場合3,000円(燃料費、電気代等込) 不特定多数を募集して利用する場合5,000円(燃料費、電気代等込)
- ・注意：食器 はし まな板 包丁 中性洗剤 食器洗剤 スポンジ ゴミ袋などは持参してください。また、出たゴミ類は全てお持ち帰りください。
- ・問合せ先：上西
491-0660



新登録団体のご紹介

全日本年金者組合 西いんば支部白井班

老後を楽しく、豊かに、安心して暮らしたい-この誰もが思う願いに答えて、活動している団体。多彩な「お楽しみ行事・サークル活動」をすすめるとともに、年金、医療、介護など社会保障の充実などの活動に取り組んでいます。組合員は全国で10万人。

問合せ先：大石 491-5335

谷田武西の原っぱと 森の会

谷田武西地区の多様な自然を護り、次世代に受け継がれることを願い活動している団体です。毎週、季節の変化を楽しみながらパトロールやゴミ拾いをしています。観察会も計画していますので、皆様のご参加をお待ちしています。

問合せ先：岩本 491-1331

アンサンブル・ ウイング

平成22年5月に発足いたしました。キーボード5~6人の小さな会です。シニア世代の集まりで楽器を楽しみ、まだまだわからないところを勉強し、頑張っていくつもりです。

問合せ先：荒川 492-7977

白井市市民活動推進センターの管理運営を受託いたしました。

白井市市民活動推進センター運営協議会 会長 岡田 崇志

白井市市民活動推進センターの平成22年度の管理運営を白井市から私共白井市市民活動推進センター運営協議会に委託されました。私達は、白井市及び白井市市民活動推進センター運営委員会の要請に基づき、当センターの運営受託団体設立に応募した15登録団体により、平成22年2月2日に設立された団体です。私たちは、微力ではございますが、当市民活動推進センターの設立趣旨に則り、より良い管理運営に努めてまいり所存でございます。白井市民の皆様には、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますとともに市民活動推進センターの利用増進についてご協力いただきますようお願い致します。



～市民活動推進センター利用状況～



利用状況は年々上昇しています！



市民活動推進センターでは登録団体の会議室や作業室の利用だけでなく登録団体の活動案内・イベント情報・リーフレット配布など、市民活動の情報発信もおこなっています。これからも多くの皆様の積極的な利用をお待ちしています。

平成22年度市民活動推進センター運営委員会の委員の紹介

【市民活動推進センター運営委員を委嘱】

市民活動推進センターの円滑な運営と市民活動の推進を図るため、市民活動の推進に係る調査研究、市民活動の情報収集や発信、事業の企画運営などを行っていただく運営委員15人が5月10日に白井市から委嘱されました。委員は、次の皆さんです（敬称略）。

神田悦男（委員長）、松本千代子（副委員長）、栗田武、杉本 力、金子龍治、中村喜代子、湯浅美代子、細川泰裕、加藤恵泉、岡本幸二郎、田中英紀、田中和八、星野隆史、岡田崇志、大塚栄一

編集後記

編集後記締め切り日の5月20日に、ニューヨーク滞在中の友人、永山巖さんから下記のようなメールが入りました。「今ニューヨーク国連ではNPT核不拡散条約の5年毎に行う再検討会議が行われております。今年は広島・長崎の被爆者約2千人も傍聴と平和活動のために、私は千葉県原爆被害者友愛会事務方として、ニューヨークに来ております」。白井平和委員会で集めた署名をも携えて行ったものと思います。彼は2歳10ヶ月の時原爆被爆をした、いわゆるヒバクシャです。4年半前の肝臓癌の大手術を契機に「ヒバクシャ」を真剣に自覚し、“おまけの人生”はライフワークとして今なお苦しんでいる被爆者を支援するとともに、核兵器の愚かさを世に問う平和活動に、政党や宗教を離れてボランティア活動を行って来ています。NHK 広島ではWebsite アーカイブスの「ヒバクシャからの手紙」ページを開設、そしてその中で400余名の被爆者からの投稿文を全文掲載してくれています。永山さんの投稿も出ています。

NHK Website「ヒバクシャからの手紙」 <http://www.nhk.or.jp/hiroshima/tegami/>

上記紹介をもって編集後記に替えさせていただきます。

（吉田治男・記）

FRONTIER

白井市市民活動推進センター

白井市堀込1-2-2（白井駅前センター内）
Phone : 047-498-0705
E-mail : npo-461@bz01.plala.or.jp